







(前頁より)

大多数すから、日本で東京の真似をするよに、アメリカでワシントンの真似をするとすれば、白人は黒人の眞似をしなければなりません。そんなことは絶対にあり得ません。それからもう一つ、ワシントンはアメリカでは文化の度が高いたると思われるかも知れませんが、アメリカでは文化の低いところです。地下鉄だけ最近になって漸くできたのです。文化の中心はニューヨークです。が、ニューヨークは余りにも早く文化の中心になり過ぎたので、今は汚くなつてどうしようもありません。地下鉄にしても、今世纪の始め頃にできたので、今では廃墟みたいに汚くなつてしまつて、いつたん入れば、命があつて出でこられるかうか、わからぬような雰囲気になつています。ニューヨークは文化の中心だとさきほど、アメリカの自動車労働者の話が出来ましたが、アメリカの飛行機労働者は、自動車労働者は澤なんだ、俺たち飛行機労働者は最高の労働者だと言つています。と言つのは、自動車は故障が起きて止めて直せばよいが飛行機はそうはいかないのだ」と言つています。

確かにそつて、日本の自動車が確かにその意味では日本はアメリカの株をつてしまいまして、本航空をはじめとして、ソ連を除いて、日本人は喜んでいますが、飛行機はどうかと言いますと、日本は世界中到るところでアメリカの飛行機を使つていません。自動車や鉄鋼がそつてあります。

## 未 来 产 業



「自動車や鉄鋼などは過去の産業である。未來産業として今一番

重要なのは、分子遺伝学であり、宇宙産業や海底産業である。こういふところでは、アメリカと日本

といふことは、天地の違いがある」と言つています。

この未来産業について、アメリカ

は、この未来産業に従事しているのです。

この未来産業について、アメ

リカの飛行機労働者は澤が

いないということです。

で故障が起きないからです。もし手を抜く労働者がいたら、信用はガタ落ちて、アメリカの飛行機

使用者の話が出来ました。

その理由は簡単で、性能がよく

飛行機労働者は、自動車労働

者は泽なんだ、俺たち飛行機労

働者は最高の労働者だ」と言つ

ています。と言つのは、自動車は故

障が起きて止めて直せばよいが

飛行機はそうはいかないのだ」と

言つています。

確かにそつて、日本の自動車が

確かにその意味では日本はアメ

リカの株をつてしまいまし

て、日本は自動車や鉄鋼

が、宇宙産業や遺伝産業が大規模

伸びるしGNPも高くなつて、ア

は多くなる、と言つてゐるのです。

昭和56年7月25日

アメリカの経済危機

では、アメリカの経済危機をレ

ーガン政権はストップすることが

できる、米工場で作ることがで

きます。砂漠を緑地にすることも

できるし、癌や高血圧の治療薬も

できる」と言つています。

さきほど、自動車労働者と飛行

機労働者の比較をしましたが、飛

行機労働者よりも優秀な労働

決であります。

さきほど、自動車労働者と飛行

機労働者の比較をしましたが、飛

行機労働者よりも優秀な労働

決であります。

反面、日本もアメリカにお株を奪われています。日本は昔から、

力以上の大革命が起きる、とアメ

リカの学者や研究者は自信満

足するのですが、これは大

い変な間違いです。

する場合は大部分を銀行から借り

ます。自己資金で設備投資をする

ことは滅多にありません。

ところが、アメリカの企業の場

合は、減価償却積立金を企業内に

貯えておいて、それで設備投資を

するのです。これは、借金をしな

いで非常に健全のまゝに見えます

が、インフレには弱いのです。物

が、まだ底力があつて、おつ

て大変弱つているよう見えます

が、ソシテ威脅が盛んですが、それは

見かけだけで、臨終寸前ですが、お

て大変弱つてあります。

アメリカはいろいろな矛盾があつ

ト韂は、実は大変むづかしい問

題です。

例えは、イギリスのサッチャー

が、この政策をやつて失敗しまし

た。

されど、最高級の労働者

が、大変むづかしい。

これは、必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

れに応じられないということが、

それでも、インフレだけは絶対に押え

なければならないのです。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで

きなくなり、その待つている間に

また物価が上がるということがで

インフレほど恐ろしいものはない

のです。

軍需業もそれで弱りに弱つて

いるのです。注文があつても、そ

でも、インフレだけは絶対に押え

なければなりません。

サッチャー政権が大失敗に終つ

たのも、インフレをなにがなん

で、

も押えるといつことができなかつたからです。

このマルチットボリシーをやる

と、初めは必ず不況と失業とは覺

悟しなければならないのですが、

たのも、インフレをなにがなん

で、

価が二倍以上がつたら、二倍の期

間待たなければ元通りの投資がで







